

星屑

2017 年 3 月号

No. 504



バラ星雲
いっかくじゅう座の散光星雲

バラ星雲

Takahashi ϵ -180ED Canon KissX5 改 2 分 $\times$ 10 枚

がんばるばい 熊本！ 熊本県民天文台

助成金が決まったら 新しい望遠鏡を発注します 高速道路のスマートインターが6月開通予定 団体向けイベントの予約も始まりました

久しぶりにのんびり

12月初旬に「しばらく休養するように」と医師から指示を受けたので、インフルエンザなどへの感染予防も兼ねて、この冬の間は「団体向けの星の観察会を休止する」ことにし、久しぶりにのんびりと過ごさせていただきました。寒暖の差が激しい今年の冬ですが、すでに2月4日の立春を過ぎていますから、これからは寒さの中にもはっきりと春の兆しが現れてくる頃でしょう。

そろそろお休みモードから起き出して、熊本地震の後の新しい年の新しい一步をどのように踏み出してゆくか、その方向性を探っておきましょう。

助成金はどうなった？

宝くじの助成金や年賀寄付金の配分については、3月末から4月の初旬頃に採否の決定通知があることになっています。宝くじ協会からは2月に入ってからすぐに、「直近3年間の来台者数を教えて欲しい」というメールを頂きました。どうやら今審査が進んでいるところらしく、私たちはまだ生き残っているらしいと分かりました。

年賀寄付金については問い合わせなどがこないで、残念ながら審査の進行度合いをうかがい知ることができません。

一方で、ライオンズクラブについては進展が見られます。資料不足だと判断されて一旦は「保留」になったらしいのですが、資料を追加提出。そうしたら1月下旬の公開日にライオンズクラブのメンバーが天文台に来台され「現状確認」をされました。その時の雰囲気では「内定に近い状態」らしいです。（対応に当たった中島副台長談）

いずれにしても、望遠鏡を購入する費用（10,800,000円）については、申請済みの3つの助成団体の内のどこかから、何とか助成が得られるのではないかと期待しているところです。

助成金が決まったら

すぐに、望遠鏡の詳細仕様を打ち合わせして、発注します。

昨年問い合わせた時のスケジュールでは、製造・搬入・設置・調整が終わって、新しい望遠鏡が稼働を始めるのは2018年の2月下旬頃になる予定です。

新しく導入する望遠鏡にどんな性能や機能が必要か、また備えたい周辺機器などについてでも結構です、ご希望やご意見・ご提案をお持ちの方がいらっしゃいましたら、できるだけ早くお知らせ下さい。「お金が用意できたらこうする」ということを、できることなら2月中に決めておきましょう。「常識」ととらわれない大胆なご提案を歓迎致します。

運営委員になりたい方、公開を手伝って下さる方も大歓迎です。

城南スマートインターチェンジ(仮称)

用地の買収や熊本地震の影響で工事が遅れていた城南スマートインターチェンジ。現在は急ピッチで土木工事が進められています。次第にその形状が整いだして、今年（2017年）6月いっぱいまで工事が完了する予定だそうです。予定どおりに運用が開始されれば、7月下旬からの夏休み期間にはこのインターチェンジを使って大勢の来台者がやってきそうな予感がします。九州自動車道は益城熊本空港インター付近から城南町の緑川パーキングエリア間で地震の被害が



北側から見た完成予想図（右上が古墳公園）

激しく、現在でもまだ渋滞が起こっているようです。しかし、それらも復旧工事が進められているようですから、インターチェンジの運用開始は県民天文台に大きな変化をもたらすでしょう。

左の完成予想図を見ると、高速道路の上り側（熊本方向）と下り側（鹿児島方向）と、それぞれに出入りが設けられ、どちらも県道38号に接続しています。

高速から県道に出ると、どちらの接続口も、接続地点のすぐ近くから高速道路の側道へと

入ることができます。この側道をインターと高速とに沿って道なりに進めば、すぐに旧道（バス通り）の古墳公園入り口に着きます。初めて来るときには少し戸惑うかもしれませんが、慣れてしまえば簡単です。高速の出口から古墳公園内の駐車場まで、車で3分程度でしょう。

そのうちに、熊本県民天文台は「世界で一番、高速道路のインターチェンジから近い場所にある天文台」として有名になるかもしれませんね。

これまで熊本市付近では白川・嘉瀬川や緑川など、大きな河川を越える場所で深刻な渋滞が発生してきました。それで、星の観望会などを企画募集しても、市の北半部から開催時刻までに天文台にやってくるのは至難の業でした。それがインターチェンジの運用開始によってアクセスが劇的に改善されるわけです。市の北半だけでなく、たぶん県の北部や福岡あたりからの来台も増えることでしょう。南側は八代や芦北・水俣・人吉など県の南部からも、気軽に来台して下さる方が増えるのではないのでしょうか？

人材を発掘しよう

そうすると、公開日数を増やして欲しいという声が上がるともかもしれませんね。地震の後、公開日を土曜日だけに限定している状態が続いていますが、すぐに公開日を増やすのは動ける運営委員の人数から考えて簡単では無さそうです。

でも、大変なのはお互い様ですから・・・、ここはあっさり前向きに物事を考えることにしましょう。「最新式のすごい望遠鏡が導入される」「それを自由に使える」「天体写真の撮影もできる」「高速のインターチェンジのすぐ側」なんてことをうたい文句に、新しい人材を発掘しましょう。

これまでも、不思議なことに、動いているときほど新しいメンバーの加入が多かった、のです。今回もまた、望遠鏡の更新とインターチェンジの運用開始、2つの大きな動きがあるわけですから、それらを活用して新しいうねりを作ってみようではありませんか。

天文台の一般公開には参加できない会員の皆さん方も、ぜひ周囲への広報に力を注いで下さい。一つ一つの声は小さくても、皆が声を出し続けていけば、必ずそれは大きな波を生み出すはずです。今は、県民天文台の活動を次の世代へと繋ぐ絶好のチャンスかもしれません。

こんな機材が欲しい！

安全・安心 な 星の観測会 のために

併せて「出張観測会」の負担を軽減したい！

軽い方がよい

2年前まで、「出張観測会」の主力機はC-11（28cmシュミカセ鏡筒）でした。この重い鏡筒を載せる赤道儀は、数回変わってPENTAXのMS-4赤道儀になりました。安定感は断然増えたのだけれど全体の重さがすごい。それで、その後、運搬する重量を減らそうと試みるようになり、C-11の代わりに15cm屈折鏡筒を持参することが増えました。

接眼部が動く範囲が大きすぎ

15cm屈折の方が随分軽いのですが、屈折鏡筒ではどうしても不同点（鏡筒バンドの位置）から接眼部までの長さが長くなってしまいます。すると、観測する天体の地平高度が高いときと低いときとで、接眼部の位置が大きく変わります。観測会には小さな子どもから大人まで、いろんな体格の人が参加していますから、焦点距離の長い屈折鏡筒を使って観測するのは考えていたのよりもずっと大変でした。

それで、接眼部の移動範囲が少なくて済む望遠鏡が欲しいと強く思うわけです。改善策として15cm屈折の接眼部に2kg分のおもりを巻き付けてみたら、10cm以上鏡筒を筒先側にスライドした状態で赤道儀に載せられました。少しましな状態になったといえそうです。（でもまだ満足はしていません）

シュミカセがリッチークレチャン

鏡筒が短いのは大きな利点です。接眼部の移動範囲も小さくて済みそうです。ピントを合わせるときにミラーシフトが起こるのは嫌いなので、接眼部は部品を買って改善した方がよさそうです。また、リッチークレチャンは副鏡の口径が大きいので、写真撮影用には良いけれど惑星を目で見て楽しむ目的には適して無さそうだとのこと。すると、天文台にあるシュミカセ（C-8、口径20cm）の接眼部を改造する方法が当面やってみるべきことでしょうか？

ヘッドウォーンマイク+ワイヤレス

観測会の時、今は、ローランドのモバイルキューブというポータブルアンプを使って拡声しています。電池駆動が可能で出力は2.5W+2.5W。これを肩から提げてヘッドウォーンマイクを繋ぎ、野外での観測中も解説をしています。両手を自由に使えるしいつでもどこでも解説ができる代わりに、望遠鏡の操作などしゃがみ込む動作をするときにははっきり言って邪魔。できれば、これをワイヤレス化したいです。

候補は、Audiotechnica（オーディオテクニカ）のATW-SP1910（ワイヤレス受信機内蔵アンプ）+ ATW-T190BP（トランスミッター）+PRO8HEW/P（ヘッドウォーンマイク）なのだけど、一組で総額10万円弱が必要です。うーむ、簡単には手が出ませんね。

そんなわけで、いろいろグズグズ思案中。さて、どこから手を付けようか・・・？

☆☆☆☆☆☆ **これからの予定** ☆☆☆☆☆☆

団体向け 「星の観察会」 を 再開します

☆ 2月25日（土） 「星の観察会」 人吉市の温泉施設で開催！
宇城市の仮設住宅に住む「子どもの居る家庭」をご招待
宇土ロータリークラブが主催

☆ 3月25日（土） 「星の観察会」 人吉市の温泉施設で開催！
宇城市の仮設住宅に住む「子どもの居る家庭」をご招待
宇土ロータリークラブが主催

☆☆☆ この頃、各助成金の採否が決定されます ☆☆☆

★ 4月28日（金）、城南公民館講座 「春の星空観察」
城南公民館主催 （県民天文台で開催）

☆☆☆ 6月中に 城南スマートインターが開通予定！ ☆☆☆
ETC専用ですが24時間全車種通行可、3分で古墳公園駐車場へ！

★ 8月26日 土曜日 午後7時30分～午後9時30 分
フィールドミュージアムへ飛びだそう
「土星と夏の星座を観察しよう」（県民天文台で開催）

☆ 9月2日（土）、 熊本県環境センター 「星空観察会」
（水俣市の熊本県環境センターで開催）

★ 11月2日（木曜日）（祝日前） 午後7時30分～午後9時30分
「月を観察し写真に写そう」（県民天文台で開催）

☆☆☆ 今年も、たくさんの予定が入りそうです ☆☆☆

☆☆☆☆ ちょっと一服

Poem & Illustration

一月は、やっと肋骨のヒビがよくなってこれでくしゃみもできる、と思ったせいなのか、今度はしつこい風邪をひいてしまいました。インフルエンザではなかったのですが、とにかく咳がしつこくて。夜は眠れないし、体力は無駄に使うし、一月後半、ほぼ寝込んでおりました。夜は美しい星空の日が多かったんですけどね…

そんなこんなでやっと収まってきたかなあという頃に美しい夕空の連続。1月30日の三日月と金星の空から始まって、31日・2月1日・2日と、4日連続で金星と火星の空を月が通っていく様子が見られました。時間を決めて定点撮影できたら理想的だったのですが、残念ながら31日以降は用事で、帰宅途中に運転しながらの観望(?) それなりに美しい空を見ることはできました。

17日には金星が最大光度、木星も金星が沈んだ後の夜空で主役状態。しばらくは楽しめますね



三日月

ひび割れた指先の
ひび割れた胸の
ひび割れた頭の
ひび割れた毎日

ひりひりと沁みていく
空の 蒼
つま先立ちの 真昼が
かかとの様子を窺って

夕暮れには
電線に引っかかった 糸の月が
春節からの日数を
ひとつ ふたつ みつつ と 数えていた

そうでしたね
きょうは三が日の三日目
もう
新月を祝うこともなくなって久しいけれど
「初春」の意味を 探しているうち
月のはるか上に
一番星が 輝き始めている



By Dio

2017年1月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 3日／4日＝75％
一般来台者数 20名

総開台日数 5日
会員来台数 15名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
9 日 (月)	快晴	小林J	0人	アルデバラン食 潜入は動画で撮る 露出はカメラ任せなので出来はどうか？
1 4 日 (土)	晴～く もり	高田 艶島小林M 高田 西嶋 中島	0人	余りの寒さにだれも来ず!! 21hで閉めます Talk About 星屑放送 その後いろいろと今後のことなど話し合って終了
2 1 日 (土)	晴のち 曇り	中島 小林M 高田 小林J	2人	金星、M42,ベテルギウス、リゲル、M35 今年初めての来台者。結構楽しんでいただけた。
2 3 日 (月)	曇り	中島	4人	ライオンズクラブより来台 最初に天文台を建設したときに望遠鏡を寄付していただいたライオンズクラブメンバーが突然来台。いろいろとみて行かれました。
2 8 日 (土)	晴のち 曇り	中島小林J 小林M高田 中島	11人 3人	金星、火星、天王星、ケレス、カペラ、ベテルギウス、リゲル、M42,M35、シリウス 寒かったがお客さんが次々と来台され、なかなか賑わった。 午後、ライオンズクラブから視察に来台。補助金申請中のため、現地調査とのこと。補助金が通ればいいな!

熊本地震から10ヶ月！ 復興への道半ば・・・

早いもので、熊本地震発生からもうすぐ10ヶ月が過ぎようとしている。人間、意外と図太いものだと思うのは、もうすでに地震への備えもなしで寝ている自分のふと気づくときだ。だんだんと記憶が風化してきているようだ。

私が住むのは熊本県民天文台のある「塚原」という集落のすぐ東隣の「藤山」という集落だ。1Kmも離れていない。全部で125軒しかない小さな集落だ。しかし、現在すでに40軒ほどの住宅が解体されて更地になってしまっている。しかし、住宅再建が終わったのは2軒だけだ。着工した住宅が他に2軒しかない。これから何軒の住宅が再建されるのか分らない。解体は熊本市が公費で行ってくれるのだが、毎日どこかで解体が始まっている。

熊本県民天文台も望遠鏡が壊れて、現在は西村製作所からお借りした望遠鏡で運営を続けている。何とか新しい望遠鏡を購入したいということで、望遠鏡募金のお願いをしているが、全国から次々と届いてきている。手持ちの資金とあわせて少しずつ目標へと近づいてきている現状だ。

しかし、それだけでは難しいと考え、現在いくつかの補助金の申請も行っている。手応えは感じているのだが、なかなかまだ決定には至っていない。新年度までには何とかめどがつけばと思っている。

小林寿郎さんが観測に使っている第二観測室の修理も、まだめどが立っていない。ドーム内の破損がひどく、これからどう修理をするのかの方針が立っていない。

このように、天文台はもちろん、地域の復興もようやく始まったばかりという状況だ。しかし、意外と明るく前向きな人が多いのは土地柄のせいだろうか？あきらめることなく少しずつ復興に取り組んでいきたい。

前震直後



解体後



毎日寒い日が続きますねえ。今のところ、熊本市内での積雪はないので、交通の混乱はありませんが、減多に積もらない南国だからこそ、道路に積もったらホント…。でも休みの日だったらちょっとは良いかもと、不謹慎な考えも。何にしても、暖かい春が待ち遠しいですね。早く春が来ないかな～。花粉はいらないけど…。

☆ 3 月の天文現象 & 行事 ☆

- 1 日 (水) 夕方の西空に、火星や天王星と月、金星、エンケ彗星が見られる
- 2 日 (木) 海王星が合 (20:27 8.0等 視直径02.2") 金星が留 (23:17)
- 5 日 (日) 上弦 (20 : 32)
啓蟄 (けいちつ ・ ・ ・ 冬眠した虫類が、陽気で地上に姿を現す)
- 6 日 (月) 水星が外合 (13:51 -1.7等 視直径04.9")
- 11 日 (土) トークアウト (20 : 00 ~ 変更の場合あり)
- 12 日 (日) 満月 (23 : 54)
- 13 日 (月) いて座 RR が極大 (5.4 ~ 14.0等 周期336日)
- 17 日 (金) 土星が西矩 (19:43 0.5等 視直径16.6")
- 20 日 (月) 春分 (しゅんぶん…昼と夜の長さが同じ。前後各3日を含め、先祖供養の日)
- 21 日 (火) 下弦 (00 : 58)
- 23 日 (木) 金星が内合 (12:42 -4.1等 視直径59.2")
- 28 日 (火) 新月 (11 : 57)
- 30 日 (木) 夕方の西空に、ケレスや火星、月や水星が集まる

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2017年3月号 通巻504号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで